

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

令和元年度 第2回総会プログラム

日 時 令和2年 1月23日(木) 9:30~17:10
1月24日(金) 9:00~11:20

会 場 コングレスクエア日本橋
コンベンションホールA・B
(〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13
東京建物日本橋ビル2F)

研究代表者 鈴木康夫
(東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター)

事務局	東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター
担当	山田 哲弘
TEL	043-462-8811 (代) TEL/ FAX : 043-462-7370
E-mail	ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

第2回総会について

1. 演題発表について

1)【発表データの作成】

スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリー、または CD-R に保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、ご自身の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)ご自身のパソコンで発表される場合は、PC 本体持ち込みで、ご準備いただけますようお願いいたします。特に動画、音声がある場合は、PC お持ち込みを推奨いたします。

2)【口演発表・討論時間】

プロジェクト責任者の先生は、総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。総括は 10 分、プロジェクト計画・研究成果の発表は 6 分、討論 4 分、時間厳守をお願い致します。

3)【発表データ受付】

発表 30 分前までにコンベンションホール A・B 会場前「発表データ受付」までご提出下さい。

その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。

2 日目のデータは、前日でも受付することが出来ます。

4)【発表データについて】

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願い致します。

5)【配布資料について】

資料を配布される場合には、事務局【E-mail: ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp】まで必ずご連絡をお願い致します。送付先等につきまして、ご案内いたします。

当日、持ち込みになられる場合も必ずご連絡をお願い致します。

配布部数 300 部のご用意をお願い致します。

6)【研究成果の公表について】

研究成果の公表の際には本調査研究班の助成を受けていることを必ず明記して下さい。

英文標記例

This work was supported in part by Health and Labor Sciences Research Grants for research on intractable diseases from the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan.

2. 会場へのご入場について

2階会場入り口の受付にて芳名録へご署名後、会場へお進みください。
会場は満席を予定しておりますので、前の方よりつめてお座り下さい。
ご協力をお願い致します。

3. 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

4. 会場案内図

コングレスクエア日本橋

住所：〒103-0027

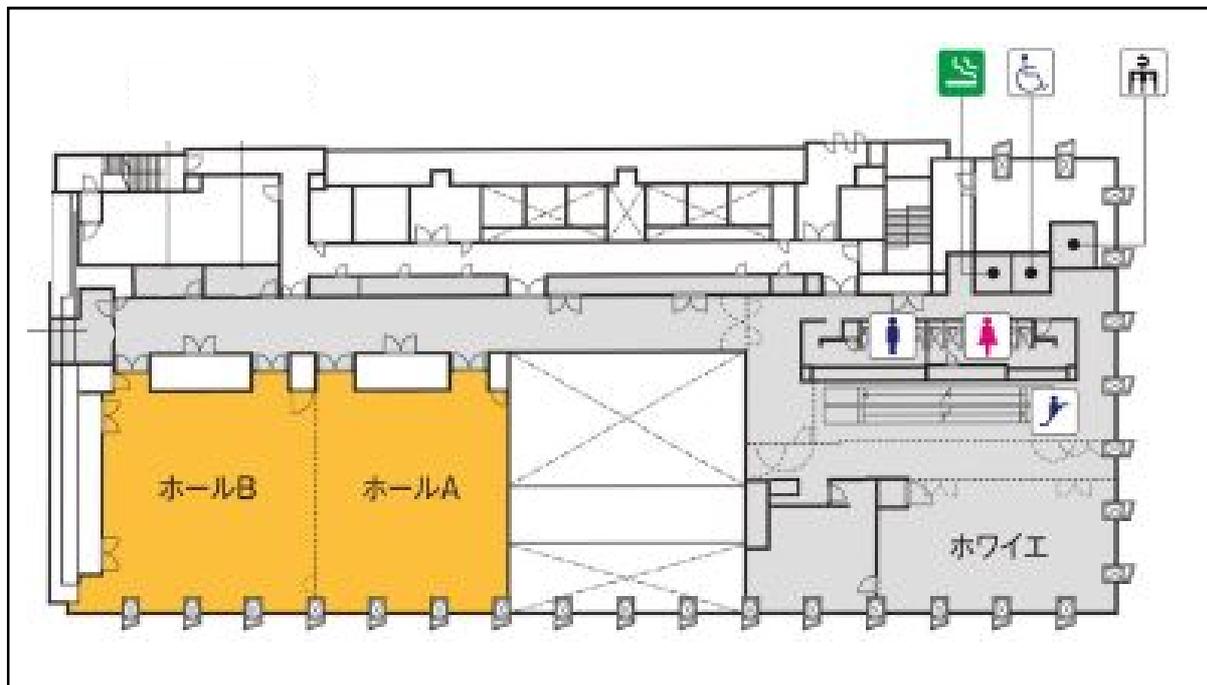
東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 2F

TEL：03-3275-2088（事務所直通）

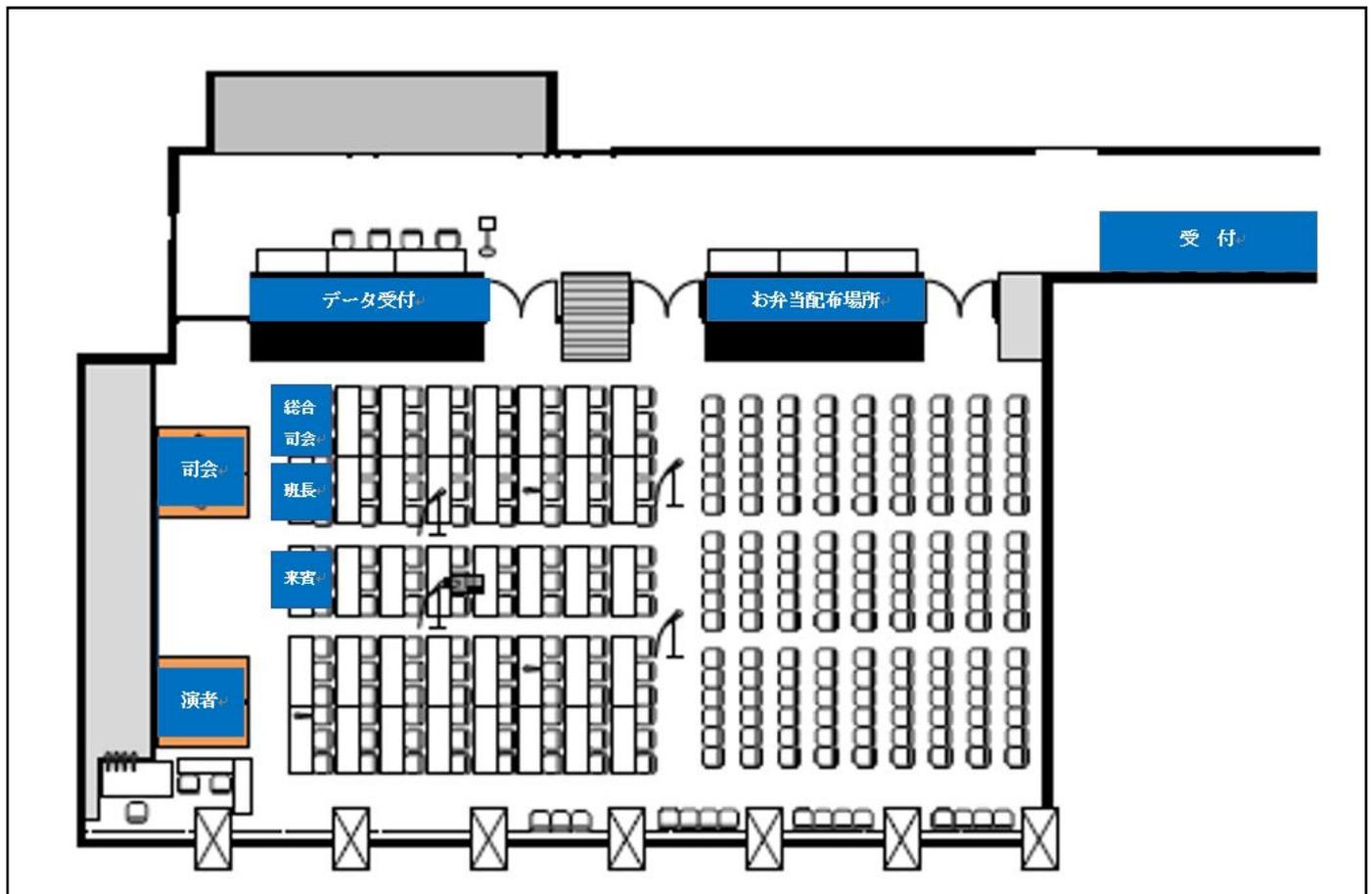
アクセス 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草「日本橋」駅 B9 出口 直結
東京メトロ半蔵門線「三越前」駅 B5 出口より 徒歩 3分
JR「東京」駅 日本橋口より 徒歩 5分
東京八重洲中央口より 徒歩 10分



【2階】



【コンベンションホールA・B 会場内】



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
令和元年度 第2回総会プログラム

(敬称略)

令和2年1月23日(木)

開会(9:30)

・厚生労働省健康局 難病対策課 挨拶

・国立保健医療科学院 挨拶

国立保健医療科学院 研究事業推進官(厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業、難治性疾患政策研究事業))

政策技術評価研究部 上席主任研究官 厚生労働省大臣官房厚生科学課(併任)

武村真治先生

・研究代表者挨拶・研究の進め方

研究代表者 鈴木康夫

・研究報告

1. 疫学・データベース作成プロジェクト(10:00~10:20)

総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野(10分)

炎症性腸疾患に対する新規薬剤を対象としたレジストリ研究

松岡克善¹、西脇祐司²、朝倉敬子²、村上義孝³、福島浩平⁴、小林 拓⁵、長沼 誠⁶、渡辺 守⁷、日比紀文⁵、鈴木康夫⁸(東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁵、慶應義塾大学医学部消化器内科⁶、東京医科歯科大学高等研究院⁷、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁸)

2. IBDの病診連携を構築するプロジェクト(10:20~10:40)

総括 久松理一 杏林大学医学部消化器内科学(10分)

軽症炎症性腸疾患患者のスマートデバイスを用いた病診連携に関する研究

土屋輝一郎¹、長堀正和²、日比谷秀爾¹、竹中健人³、本林麻衣子¹、清水寛路¹、藤井俊光¹、斎藤詠子¹、大塚和朗⁴、渡辺 守⁵(東京医科歯科大学消化器内科¹、東京医科歯科大学臨床試験管理センター²、東京医科歯科大学消化器連携医療学³、東京医科歯科大学光学医療診療部⁴、東京医科歯科大学高等研究院⁵)

3. 治療指針・ガイドラインの改訂(10:40~11:55)

総括 中村志郎 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門(10分)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 臨床研究部 炎症性腸疾患科(15分)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

中村志郎¹、松井敏幸²、杉田 昭³、余田 篤⁴、安藤 朗⁵、金井隆典⁶、長堀正和⁷、樋田信幸¹、穂苅量太⁸、渡辺憲治⁹、仲瀬裕志¹⁰、竹内 健¹¹、上野義隆¹²、新井勝大¹³、虻川大樹¹⁴、福島浩平¹⁵、二見喜太郎¹⁶、

鈴木康夫¹⁷ (兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター³、大阪医科大学小児科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、慶應義塾大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、防衛医科大学校消化器内科⁸、兵庫医科大学 腸管病態解析学講座⁹、札幌医科大学 消化器内科学講座¹⁰、辻中病院柏の葉 消化器内科・IBD センター¹¹、広島大学病院内視鏡診療科¹²、国立成育医療研究センター 消化器科¹³、宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科¹⁴、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建工医学¹⁵、福岡大学筑紫病院臨床医学研究センター外科¹⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁷)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、小金井一隆¹、篠崎 大⁹、畑 啓介¹⁰、亀山仁史¹¹、楠 正人¹²、佐々木巖¹³、中村志郎¹⁴、平井郁仁¹⁵ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁷、東京女子医大消化器・一般外科⁸、東大医科学研究所病院腫瘍外科⁹、東京大学大腸肛門外科¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、三重大学消化管、小児外科学¹²、みやぎ健診プラザ¹³、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁴、福岡大学病院消化器内科¹⁵)

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○久松理一¹、平井郁仁²、小金井一隆³、新井勝大⁴、虻川大樹⁵、小林 拓⁶、長沼 誠⁷、松浦 稔¹、松岡克善⁸、猿田雅之⁹、畑 啓介¹⁰、加藤真吾¹¹、加藤 順¹²、仲瀬裕志¹³、中村志郎¹⁴、鈴木康夫¹⁵ (杏林大学医学部消化器内科学¹、福岡大学消化器内科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科³、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科⁴、宮城県立こども病院総合診療科・消化器内科⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁸、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁹、東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科¹⁰、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科¹¹、千葉大学大学院医学研究院消化器内科¹²、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁵)

腸管外合併症治療指針の作成

久松理一¹、平井郁仁²、小金井一隆³、新井勝大⁴、虻川大樹⁵、小林 拓⁶、長沼 誠⁷、松浦 稔¹、松岡克善⁸、猿田雅之⁹、畑 啓介¹⁰、加藤真吾¹¹、加藤 順¹²、藤谷幹浩¹³、仲瀬裕志¹⁴、中村志郎¹⁵、鈴木康夫¹⁶ (杏林大学医学部消化器内科学¹、福岡大学消化器内科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科³、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科⁴、宮城県立こども病院総合診療科・消化器内科⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁸、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁹、東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科¹⁰、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科¹¹、千葉大学大学院医学研究院消化器内科¹²、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野¹³、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁶)

炎症性腸疾患外科治療の確化プロジェクト

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、小金井一隆¹、篠崎 大⁹、畑 啓介¹⁰、亀山仁史¹¹、楠 正人¹²、佐々木 巖¹³、長堀正和¹⁴、平井郁仁¹⁵、長沼 誠¹⁶、中村志郎¹⁷ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁷、東京女子医大消化器・一般外科⁸、東大医科学研究所病院腫瘍外科⁹、東京大学大腸肛門外科¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、三重大学消化管、小児外科学¹²、みやぎ健診プラザ¹³、東京医科歯科大学消化器内科¹⁴、福岡大学消化器内科¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講

【誌上】Crohn病手術例の再発危険因子の検討 prospective study

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、小金井一隆⁹、篠崎 大¹⁰、畑 啓介¹¹、亀山仁史¹²、楠 正人¹³、佐々木 巖¹⁴、村上義孝¹⁵、西脇祐司¹⁶ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門、東京女子医大消化器・一般外科⁸、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科⁹、東大医科学研究所病院腫瘍外科¹⁰、東京大学大腸肛門外科¹¹、新潟大学消化器・一般外科¹²、三重大学消化管、小児外科学¹³、みやぎ健診プラザ¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野¹⁵、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁶)

【誌上】潰瘍性大腸炎におけるブデソニド注腸フォーム剤寛解導入療法後のメサラジン注腸製剤寛解維持療法の有用性の検討：国内多施設共同前向きランダム化比較試験；STABILITY study

渡辺憲治¹、長沼 誠²、小林清典³、竹内 健⁴、平井郁仁⁵、江崎幹宏⁶、井桁正堯⁷、南條宗八⁸、青山伸郎⁹、西下正和¹⁰、細見周平¹¹、鎌田紀子¹¹、大森鉄平¹²、柿本一城¹³、馬場重樹¹⁴、安藤 朗¹⁴、野崎良一¹⁵、長坂光夫¹⁶、大宮直木¹⁶、高津典孝¹⁷、藤井久男¹⁸、都築義和¹⁹、藤森絢子²⁰、宮寄孝子²¹、樋田信幸²¹、中村志郎²¹ (兵庫医科大学腸管病態解析学¹、慶應大学病院消化器内科²、北里大学新世紀医療開発センター³、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBDセンター⁴、福岡大学医学部消化器内科学講座⁵、佐賀大学医学部付属病院光学医療診療部⁶、兵庫医科大学臨床研究支援センターデータサイエンス部門⁷、富山大学内科学第三講座⁸、青山内科クリニック⁹、西下胃腸病院¹⁰、大阪市立大学消化器内科学¹¹、東京女子医科大学消化器内科¹²、大阪医科大学第二内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、高野会高野病院消化器内科¹⁵、藤田医科大学消化管内科学¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター¹⁸、埼玉医科大学消化管内科¹⁹、香川大学医学部消化器神経内科²⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²¹)

4. 腸内細菌プロジェクト (11:55~12:10)

総括 安藤 朗 滋賀医科大学 消化器内科 (15分)

----- 昼食 12:10~13:00 -----

5. 新たなIBD診断の開発 (13:00~13:20)

総括 緒方晴彦 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター (10分)

クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡と MRE の比較試験 Progress Study 2: 国内多施設共同試験、中間報告

渡辺憲治¹、竹内 健²、矢野智則³、長沼 誠⁴、奥田茂男⁵、大塚和朗⁶、北詰良雄⁷、平井郁仁⁸、村上義孝⁹、屋代香絵¹⁰、櫻庭裕丈¹¹、石黒 陽¹²、加藤真吾¹³、馬場重樹¹⁴、安藤 朗¹⁴、渡辺知佳子¹⁵、穂苅量太¹⁵、長坂光夫¹⁶、大宮直木¹⁶、伊藤貴博¹⁷、前本篤男¹⁷、吉田篤史¹⁸、遠藤 豊¹⁸、安川重義¹⁹、高津典孝¹⁹、細江直樹²⁰、宮寄孝子²¹、樋田信幸²¹、中村志郎²¹、山本博徳³、金井隆典⁴、上野文昭¹⁸、渡辺 守⁶、鈴木康夫²²(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBD センター²、自治医科大学消化器内科³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部放射線診断科⁵、東京医科歯科大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学放射線科⁷、福岡大学医学部消化器内科学講座⁸、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野⁹、大船中央病院放射線科¹⁰、弘前大学医学部消化器血液内科学講座¹¹、国立病院機構弘前病院臨床研究部¹²、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、防衛医科大学校消化器内科¹⁵、藤田医科大学消化管内科学¹⁶、札幌東徳洲会病院 IBD センター¹⁷、大船中央病院消化器 IBD センター¹⁸、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁹、慶應義塾大学医学部内視鏡センター²⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²²)

【誌上】潰瘍性大腸炎の組織学的治癒予測のための内視鏡自動診断システムの開発 (UC-CAD study)

牟田口真¹、緒方晴彦¹、高林 馨¹、細江直樹¹、福原佳代子²、水野慎大³、長沼 誠³、金井隆典³、渡辺英伸⁴、前田康晴⁵、笹沼靖子⁵、森 悠一⁵、三澤将史⁵、小形典之⁵、工藤進英⁵、竹中健人⁶、大塚和朗⁶、渡辺 守⁶、伊東隼人⁷、森 健策⁷(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、慶應義塾大学医学部消化器内科³、新潟大学名誉教授⁴、昭和大学横浜市北部病院⁵、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科⁶、名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻⁷)

【誌上】クローン病におけるカプセル内視鏡検査の有用性・安全性に関する多施設共同前向き研究 (SPREAD-J)

猿田雅之¹、櫻井俊之¹、大森鉄平²、安藤勝祥³、上野伸展³、藤谷幹浩³、中村正直⁴、山本修司⁵、小林拓⁶、武田輝之⁷、江崎幹宏⁸、深田憲将⁹、三原 弘¹⁰、新崎信一郎¹¹、大澤 恵¹²、杉本 健¹²、三澤 昇¹³、中島 淳¹³、西山 竜¹⁴、北村和哉¹⁵、我妻康平¹⁶、仲瀬裕志¹⁶、平岡佐規子¹⁷、福田勝之¹⁸、藤井久男¹⁹、櫻庭裕丈²⁰、遠藤克哉²¹、大宮直木²²、横山 薫²³、安藤 朗²⁴、長堀正和²⁵、細江直樹²⁶、緒方晴彦²⁶、山下真幸²⁷、田中浩紀²⁸、本谷 聡²⁸、岡 志郎²⁹、田中信治³⁰、加藤真吾³¹、吉田篤史³²、渡辺憲治³³、中村志郎³³、柿本一城³⁴、久松理一³⁵、三井啓吾³⁶、前本憲男³⁷、松岡克善³⁸、松本主之³⁹、山本博徳⁴⁰、志賀永嗣⁴¹、鳥巢剛弘⁴²(東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹、東京女子医科大学消化器内科²、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野³、名古屋大学消化器内科⁴、京都大学消化器内科⁵、北里大学北里大学研究所病院 IBD センター⁶、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁷、佐賀大学光学診療部⁸、関西医科大学消化器肝臓内科⁹、富山大学第三内科診療部門消化器内科¹⁰、大阪大学消化器内科学¹¹、浜松医科大学消化器内科¹²、横浜市立大学医学部肝胆膵消化器病学¹³、平塚共済病院消化器内科¹⁴、金沢大学消化器内科¹⁵、札幌医科大学消化器内科学講座¹⁶、岡山大学病院 IBD センター¹⁷、聖路加国際病院消化器内科¹⁸、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター¹⁹、弘前医科大学消化器血液内科学講座²⁰、東北医科薬科大学消化器内科²¹、藤田保健衛生大学消化管内科²²、北里大学消化器内科²³、滋賀医科大学消化器内科²⁴、東京医科歯科大学消化器内科²⁵、慶應義塾大学内視鏡センター²⁶、聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科²⁷、札幌厚生病院 IBD センター²⁸、広島大学消化器・代謝内科²⁹、広島大学光学診療部³⁰、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科³¹、大船中央病院光学診療部³²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門³³、大阪医科大学第二内科³⁴、杏林大学第三内科学教室³⁵、日本医科大学消化器内科³⁶、札幌東徳洲会病院 IBD センター³⁷、東邦大学医療センター佐倉病院³⁸、岩手医科大学消化器内科学消化管分野³⁹、自治医科大学消化器内科学部門⁴⁰、東北大学消化器内科⁴¹、九州大学病態機能内科学⁴²)

【誌上】炎症性腸疾患に対する通常内視鏡診断へのAI適応研究

高林 馨¹、緒方晴彦¹、福原佳代子¹、細江直樹¹、南木康作²、三上洋平²、水野慎大²、筋野智久²、長沼誠²、金井隆典²、小林 拓³、中野 雅³、日比紀文³、松岡克善⁴、河村卓二⁵、田中聖人⁵、佐藤真一⁶（慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター³、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴、日本赤十字社京都第二赤十字病院⁵、国立情報学研究所⁶）

6. 広報活動/研究成果公表/専門医育成プロジェクト（13：20～13：50）

総括 岡崎和一 関西医科大学内科学第三講座（10分）

Webを主体とした患者・家族への情報発信と一般医の啓発・教育活動

鈴木康夫¹、竹内 健²、長堀正和³、藤谷幹浩⁴、中村志郎⁵、穂刈量太⁶、渡邊知佳子⁶、藤井久男⁷、岡崎和一⁸、二見喜太郎⁹、安藤 朗¹⁰、馬場重樹¹⁰、江崎幹宏¹¹、加藤 順¹²、長沼 誠¹³、畑 啓介¹⁴、新井勝大¹⁵（東邦大学佐倉病院 IBD センター¹、辻仲病院柏の葉²、東京医科歯科大学 消化器内科³、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁵、防衛医科大学校内科⁶、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁷、関西医科大学内科学第三講座⁸、福岡大学筑紫病院外科⁹、滋賀医科大学消化器内科¹⁰、佐賀大学医学部附属病院消化器内科¹¹、千葉大学大学院医学研究院消化器内科¹²、慶應義塾大学医学部 消化器内科¹³、東京大学医学部腫瘍外科¹⁴、国立成育医療研究センター消化器科¹⁵）

IBDを専門とする消化器医育成プログラムの開発

鈴木康夫¹、竹内 健²、岡崎和一³、二見喜太郎⁴、安藤 朗⁵、辻川知之⁵、渡辺 守⁶、長堀正和⁶、松岡克善²、高後 裕⁶、蘆田知史⁷、○藤谷幹浩⁸、上野伸典⁸、安藤勝祥⁸、稲場勇平⁹、中村志郎¹⁰、渡辺憲治¹⁰、福島浩平¹¹、平井郁仁¹²、穂刈量太¹³、金井隆典¹⁴、長沼 誠¹⁴、藤井久男¹⁵、横山 薫¹⁶、木村英明¹⁷、江崎幹宏¹⁸、畑 啓介¹⁹（東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹、辻仲病院柏の葉²、関西医科大学内科学第三講座³、福岡大学筑紫病院外科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、東京医科歯科大学 消化器病態学⁵、国際医療福祉大学病院消化器内科⁶、札幌徳州会病院 IBD センター⁷、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野⁸、市立旭川病院消化器病センター⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁰、東北大学大学院消化管再建医工学分野 分子病態外科学分野¹¹、福岡大学医学部消化器内科学¹²、防衛医科大学校内科¹³、慶應義塾大学消化器内科¹⁴、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター¹⁵、北里大学医学部消化器内科¹⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁷、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁸、東京大学医学部腫瘍外科¹⁹）

7. 合併症・副作用対策プロジェクト（13：50～15：30）

総括 猿田雅之 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科（10分）

総括 池内浩基 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学外科部門（10分）

高齢者潰瘍性大腸炎手術症例の術前治療と術後合併症の検討-3年間の多施設共同前向き観察研究-

○池内浩基¹、福島浩平²、杉田 昭³、畑 啓介⁴、二見喜太郎⁵、高橋賢一⁶、石原総一郎⁴、板橋道朗⁷、小金井一隆³、木村英明⁸、楠 正人⁹、小山文一¹⁰、植田 剛¹¹、水島恒和¹²、内野 基¹、東 大二郎⁵（兵庫医科大学炎症性腸疾患外科¹、東北大学東北大学大学院分子病態外科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科³、東京大学腫瘍外科⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、東北労災病院大腸肛門外科⁶、東京女子医科大学消化器外科⁷、横浜市立大学総合医療センター炎症性腸疾患センター⁸、三重大学消化管・小児外科⁹、奈良県立医科大学外科¹⁰、南奈良総合医療センター外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²）

潰瘍性大腸炎治療例の予後 QOL の観点から (prospective study)

杉田 昭¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、楠 正人⁸、畑啓介⁹、福島浩平¹⁰、小金井一隆¹、佐々木 巖¹¹、松岡克善¹²、平井郁仁¹³、長堀正和¹⁴、中村志郎¹⁵、橋本秀樹¹⁶ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹、東邦大学佐倉病院消化器内科¹²、福岡大学消化器内科¹³、東京医科歯科大学消化器内科¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科学部門¹⁵、東京大学大学院保健社会行動学分野¹⁶)

炎症性腸疾患における血栓症発症の予防・治療に関する研究

藤谷幹浩¹、安藤勝祥¹、稲場勇平²、野村好紀¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男³、蘆田知史⁴、高後 裕⁵、仲瀬裕志⁶、山田 聡⁷、田中一之⁸、櫻井俊之⁹、猿田雅之⁹、八月朔日 秀明¹⁰、穂苅量太¹⁰、岡 昌平¹¹、平岡佐規子¹¹、加賀谷尚史¹²、田中敏宏¹³、福井寿朗¹³、鳥巢剛弘¹⁴、齋藤大祐¹⁵、久松理一¹⁵、長堀正和¹⁶、加藤真吾¹⁷、志賀永嗣¹⁸、角田洋一¹⁸、渡辺憲治¹⁹、中村志郎²⁰、池内浩基²¹、林 亮平²²、田中信治²³、虻川大樹²⁴、佐々木誠人²⁵、飯塚政弘²⁶、飯島英樹²⁷、水島恒和²⁸、小林清典²⁹、小林 拓³⁰、内山和彦³¹、長沼 誠³²、金井隆典³²、江崎幹宏³³、飯田智哉⁶、田中浩紀³⁴、馬場重樹³、安藤 朗³⁵、清水俊明³⁶、福田勝之³⁷、鈴木英雄³⁸、大北喜基³⁹ (旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²、札幌東徳州会病院 IBD センター³、札幌徳州会病院 IBD センター⁴、国際医療福祉大学病院消化器内科⁵、札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座⁶、京都大学消化器内科⁷、旭川厚生病院消化器科⁸、東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科⁹、防衛医科大学校 消化器内科¹⁰、岡山大学 消化器内科¹¹、金沢医療センター 消化器内科¹²、関西医科大学 第三内科¹³、九州大学 消化管内科¹⁴、杏林大学 第三内科¹⁵、東京医科歯科大学 消化器内科¹⁶、埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科¹⁷、東北大学 消化器内科¹⁸、兵庫医科大学 腸管病態解析学¹⁹、兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科²⁰、兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科²¹、広島大学 消化器・代謝内科²²、広島大学 内視鏡診療科²³、宮城県立こども病院 消化器科²⁴、愛知医科大学 消化管内科²⁵、秋田赤十字病院 消化器内科²⁶、大阪大学 消化器内科²⁷、大阪大学 消化器外科²⁸、北里大学 新世紀医療開発センター²⁹、北里大学北里研究所病院 IBD センター³⁰、京都府立医科大学 消化器内科³¹、慶応義塾大学 消化器内科³²、佐賀医科大学 光学医療診療部³³、札幌厚生病院 IBD センター³⁴、滋賀医科大学 消化器内科³⁵、順天堂大学 小児科³⁶、聖路加国際病院 消化器内科³⁷、筑波大学 消化器内科³⁸、三重大学 消化管・小児外科³⁹)

クローン病術後吻合部潰瘍に関する調査研究

小山文一¹、植田 剛²、藤井久男³、杉田 昭⁴、池内浩基⁵、福島浩平⁶、畑 啓介⁷、荒木俊光⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、楠 正人⁸、小金井一隆⁴、内野 基⁵、渡辺和宏⁶、品川貴秀⁷、高橋賢一¹¹、根津理一郎¹²、橋本可成¹³、舟山裕士¹⁴、水島恒和¹⁵、飯島英樹¹⁶、山本博徳¹⁷、加藤 順¹⁸、小林 拓¹⁹、藤谷幹浩²⁰、佐々木誠人²¹、松岡克善²²、竹中健人²²、田中信治²³、上野義隆²³、東 大二郎²⁴、二見喜太郎²⁴ (奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患外科⁵、東北大学大学院消化管再建医学・分子病態外科学分野⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹⁰、東北労災病院大腸肛門外科¹¹、西宮市立中央病院外科¹²、順心病院消化器センター¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、大阪大学消化器外科¹⁵、大阪大学消化器内科¹⁶、自治医科大学消化器内科¹⁷、和歌山県立医科大学消化器内科¹⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁹、旭川医科大学消化器内科²⁰、愛知医科大学消化管内科²¹、東京医科歯科大学消化器内科²²、広島大学病院内視鏡診療科²³、福岡大学筑紫病院外科²⁴)

炎症性腸疾患における骨・関節合併症の実態調査

猿田雅之¹、櫻井俊之¹、富田哲也²（東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹、大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学²）

本邦の炎症性腸疾患患者における EB ウィルス感染状況に関する多施設共同研究（中間報告）

久松理一¹、三浦みき¹、清水泰岳²、新井勝大²、清水俊明³、岩間 達⁴、仲瀬裕志⁵（杏林大学医学部消化器内科学¹、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科²、順天堂大学小児科・思春期科³、埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科⁴、札幌医科大学消化器内科⁵）

大規模診療報酬データベースを用いたチオプリン製剤関連悪性腫瘍の頻度

小林 拓¹、日比紀文¹（北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹）

クローン病再手術率の時代的変遷

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、二見喜太郎⁵、楠 正人⁶、小山文一⁷、水島恒和⁸、板橋道朗⁹、木村英明¹⁰、安藤 朗¹¹、岡崎和一¹²、緒方晴彦¹³、金井隆典¹⁴、猿田雅之¹⁵、清水俊明¹⁶、仲瀬裕志¹⁷、中野 雅¹⁸、中村志郎¹⁹、長堀正和²⁰、西脇祐司²¹、久松理一²²、平井郁仁²³、穂刈量太²⁴、松岡克善²⁵、松本主之²⁶、鈴木康夫²⁷（東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学消化器・総合外科⁷、大阪大学炎症性腸疾患治療学寄附講座⁸、東京女子医科大学消化器・一般外科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター¹⁰、滋賀医科大学消化器内科¹¹、関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）¹²、慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹³、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室¹⁶、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁷、北里大学北里研究所病院消化器内科¹⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁹、東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床試験管理センター²⁰、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²¹、杏林大学医学部消化器内科学²²、福岡大学医学部消化器内科²³、防衛医科大学校消化器内科²⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座²⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁷）

8. IBD の特殊型（15：30～16：20）

総括 清水俊明 順天堂大学医学部小児科学教室（10分）

総括 穂刈量太 防衛医科大学校 消化器内科（10分）

本邦における超早期発症型炎症性腸疾患（VE0-IBD）の実態解明と診断基準の作成

新井勝大¹、清水俊明²、工藤孝広²、清水泰岳¹、細井賢二²、大塚宜一²、石毛 崇³、内田恵一⁴、田尻 仁⁵、鈴木康夫⁶（国立成育医療研究センター消化器科¹、順天堂大学小児科²、群馬大学小児科³、三重大学大学院消化管・小児外科⁴、大阪急性期・総合医療センター 臨床研究支援センター⁵、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁶）

小児期発症炎症性腸疾患患者の理想的なトランジションを目指して

熊谷秀規¹、清水俊明²、工藤孝広²、内田恵一²、国崎玲子³、杉田 昭⁴、大塚宜一²、新井勝大⁶、窪田 満⁷、田尻 仁⁸、鈴木康夫⁹（自治医科大学小児科学¹、順天堂大学小児科²、三重大学小児外科³、横浜市立大学市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁵、国立成育医療研究センター消化器科⁶、国立成育医療研究センター総合診療部⁷、大阪府立急性期・総合医療センター小児科⁸、東邦大学佐倉病院 IBD センター⁹）

高齢発症潰瘍性大腸炎の増悪因子

東山正明¹、高本俊介¹、穂苅量太¹ (防衛医科大学校消化器内科¹)

9. 希少疾患プロジェクト (16:20~17:10)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10分)

家族性地中海熱関連腸炎の診断法確立・機序解明

仲瀬裕志¹、飯田智也¹、平山大輔¹、風間友江¹、横山佳浩¹、櫻井晃弘²、久松理一³、松本主之⁴、江崎幹宏⁵、国崎玲子⁶、本澤有介⁷、大宮美香⁸、荒木寛司⁹、渡辺憲治¹⁰、田中浩紀¹¹、小林拓¹²、日比紀文¹²、上野進展¹³、大井秀久¹⁴、細見周平¹⁵、新井勝広¹⁶、安藤朗¹⁷、石川大¹⁸、白木学¹⁹、松田耕一郎²⁰、横山純二²¹、後藤田卓志²²、武田輝²³、大宮直木²⁴、穂苅量太²⁵、荒木俊光²⁶、鈴木康夫²⁷ (札幌医科大学消化器内科学講座¹、札幌医科大学 遺伝医学²、杏林大学第3内科³、岩手医科大学消化器内科消化管分野⁴、九州大学大学院 病態機能内科学 第二内科⁵、横浜市立大学附属 市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁶、京都大学医学部附属病院 内視鏡部⁷、関西医科大学内科学第3講座⁸、岐阜大学医学部 光学医療診療部⁹、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁰、札幌厚生病院 IBDセンター¹¹、北里大学大学院医療系研究科炎症性腸疾患先進治療センター¹²、旭川医大第3内科¹³、いずろ今村病院¹⁴、大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科¹⁵、国立成育医療研究センター消化器内科¹⁶、滋賀医科大学医学部 消化器内科¹⁷、順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科¹⁸、東北労災病院 胃腸内科¹⁹、富山県立中央病院 消化器内科²⁰、新潟大学医歯薬総合病院 光学医療診療部²¹、日本大学病院 消化器内科²²、福岡大学筑紫病院 消化器内科²³、藤田保健衛生大学病院 消化器内科²⁴、防衛医科大学校病院 消化器内科²⁵、三重大学病院 消化管外科²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科学²⁷)

非特異性多発性小腸潰瘍症 (CEAS) の病変部位と臨床・遺伝学的要因の関連

梅野淳嗣¹、冬野雄太¹、鳥巢剛弘¹、江崎幹宏²、梁井俊一³、大宮直木⁴、久松理一⁵、渡辺憲治⁶、細江直樹⁷、緒方晴彦⁷、平井郁仁⁸、久部高司⁹、松井敏幸⁹、八尾恒良¹⁰、松本主之³、CEAS study group (九州大学大学院病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野³、藤田医科大学消化管内科学⁴、杏林大学医学部消化器内科学⁵、兵庫医科大学腸管病態解析学⁶、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁷、福岡大学医学部消化器内科学講座⁸、福岡大学筑紫病院 消化器内科⁹、佐田厚生会 佐田病院¹⁰)

クローンカイトカナダ症候群カラーアトラス作成

穂苅量太¹、八月朔日秀明¹、松本主之²、諸井林太郎³、矢野智則⁴、中村正直⁵、柿本一城⁶、大島忠之⁷、大井充⁸、大宮直木⁹、細江直樹¹⁰ (防衛医科大学校¹、岩手医科大学²、東北大学消化器内科³、自治医科大学⁴、名古屋大学⁵、大阪医科大学 第二内科⁶、兵庫医科大学内科学消化管科⁷、神戸大学⁸、藤田大学⁹、慶應義塾大学¹⁰)

腸管型パーチェット診療ガイドライン作成とパーチェット病レジストリについて

久松理一¹、井上詠²、渡辺憲治³、谷田諭史⁴、国崎玲子⁵、小林清典⁶、長堀正和⁷、新井勝大⁸、内野基⁹、小金井一隆¹⁰、小林拓¹¹、岳野光洋¹²、上野文昭¹³、松本主之¹⁴、鈴木康夫¹⁵ (杏林大学医学部第三内科学¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、兵庫医科大学腸管病態解析学³、名古屋市立大学医学部消化器内科⁴、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター⁵、北里大学医学部新世紀医療開発センター⁶、東京医科歯科大学医学部消化器内科⁷、国立成育医療センター 器官病態系内科部消化器科⁸、兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科⁹、横浜市民病院 炎症性腸疾患科¹⁰、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹¹、日本医科大学リウマチ膠原病科¹²、大船中央病院¹³、岩手医科大学消化管内科学¹⁴、東邦大

【誌上】特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為比較試験 Castle Study : 国内多施設共同試験

渡辺憲治¹、松本主之²、仲瀬裕志³、久松理一⁴、平井郁仁⁵、小林清典⁶、国崎玲子⁷、長堀正和⁸、竹内健⁹、大藤さとこ¹⁰、福島若葉¹⁰、梁井俊一²、林田真理⁴、稲場勇平¹¹、藤谷幹浩¹¹、櫻庭裕丈¹²、角田洋一¹³、勝野達郎¹⁴、大森鉄平¹⁵、小林拓¹⁶、秋山純一¹⁷、本田穰¹⁸、佐藤公¹⁹、佐々木誠人²⁰、谷田諭史²¹、加賀谷尚史²²、馬場重樹²³、安藤朗²³、深田憲将²⁴、岡崎和一²⁴、細見周平²⁵、鎌田紀子²⁵、宮寄孝子²⁶、樋田信幸²⁶、中村志郎²⁶、山本修司²⁷、平田敬²⁸、石田哲也²⁹、松本吏弘³⁰、金城福則³¹、金城徹³²、上野義隆³³、田中信治³³、渡辺知佳子³⁴、穂苅量太³⁴、高橋索真³⁵、進士明宏³⁶、北村和哉³⁷、辻川知之³⁸、山下真幸³⁹、長沼誠⁴⁰、櫻井俊之⁴¹、猿田雅之⁴¹、田中浩紀⁴²、本谷聡⁴²、邊見慎一郎⁴³、岸昌廣⁴⁴、高津典孝⁴⁴、宮川一平⁴⁵、田中良哉⁴⁵、日暮琢磨⁴⁶、中島淳⁴⁶、桐野洋平⁴⁷、水木信久⁴⁸、山田哲弘⁴⁹、松岡克善⁴⁹、鈴木康夫⁴⁹、上野文昭⁵⁰、日比紀文¹⁶、渡辺守⁸(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²、札幌医科大学消化器内科³、杏林大学医学部消化器内科学⁴、福岡大学医学部消化器内科学講座⁵、北里大学新世紀医療開発センター⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBDセンター⁹、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹⁰、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野¹¹、弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座¹²、東北大学消化器内科¹³、千葉大学消化器内科¹⁴、東京女子医科大学消化器病センター¹⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁶、国立国際医療研究センター消化器内科¹⁷、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野¹⁸、山梨大学医学部第1内科¹⁹、愛知医科大学消化器内科²⁰、名古屋市立大学消化器内科²¹、国立病院機構金沢医療センター消化器科²²、滋賀医科大学消化器内科²³、関西医科大学消化器肝臓内科²⁴、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²⁶、京都大学消化器内科²⁷、松山赤十字病院胃腸センター²⁸、石田消化器 IBD クリニック²⁹、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科³⁰、浦添総合病院消化器内科³¹、琉球大学光学医療診療部³²、広島大学内視鏡診療科³³、防衛医科大学消化器内科³⁴、香川県立中央病院消化器内科³⁵、諏訪赤十字病院腫瘍内科³⁶、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター³⁷、国立病院機構東近江総合医療センター消化器内科³⁸、聖マリアンナ医科大学消化器内科³⁹、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴⁰、東京慈恵医科大学消化器・肝臓内科⁴¹、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター⁴²、大阪赤十字病院消化器内科⁴³、福岡大学筑紫病院消化器内科⁴⁴、産業医科大学医学部第1内科学講座⁴⁵、横浜市立大学肝胆膵消化器病学⁴⁶、横浜市立大学血液・免疫・感染症内科学⁴⁷、横浜市立大学大学院眼科学⁴⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴⁹、大船中央病院消化器 IBD センター⁵⁰)

----- 17:10 終了予定 -----

事務局連絡

懇親会(17:20~)

令和2年1月24日(金)

. 研究報告(続)

10. 診断基準の改訂(9:00~10:00)

総括 平井郁仁 福岡大学医学部 消化器内科(10分)

炎症性腸疾患の疾患活動性指標集の改定プロジェクト 進捗状況の報告

岸昌廣¹、高田康道²、別府剛志²、高津典孝¹、竹内健³、鈴木康夫⁴、平井郁仁⁵(福岡大学筑紫病院 炎

症性腸疾患センター¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科²、辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター⁴、福岡大学医学部 消化器内科⁵)

潰瘍性大腸炎の臨床的重症度による分類の改定 進捗状況の報告

○高津典孝¹、竹内 健²、長沼 誠³、大塚和朗⁴、渡辺憲治⁵、松本主之⁶、江崎幹宏⁷、小金井一隆⁸、杉田昭⁹、畑 啓介¹⁰、二見喜太郎¹¹、味岡洋一¹²、田邊 寛¹³、岩下明徳¹³、平井郁仁¹⁴(福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター¹、辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター²、慶應義塾大学医学部 消化器内科³、東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部⁴、兵庫医科大学 腸管病態解析学⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野⁶、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁷、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科⁸、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター⁹、東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科・血管外科¹⁰、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター(外科)¹¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野¹²、福岡大学筑紫病院 病理部¹³、福岡大学医学部 消化器内科¹⁴)

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立-Target vs Random 生検のランダム化比較試験のフォローアップスタディー

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、味岡洋一²、安藤 朗³、池内浩基⁴、岡崎和一⁵、緒方晴彦⁶、金井隆典⁷、猿田雅之⁸、清水俊明⁹、杉田 昭¹⁰、仲瀬裕志¹¹、中野 雅¹²、中村志郎¹³、長堀正和¹⁴、西脇祐司¹⁵、久松理一¹⁶、平井郁仁¹⁷、福島浩平¹⁸、二見喜太郎¹⁹、穂刈量太²⁰、松岡克善²¹、松本主之²²、鎌田紀子²³、光山慶一²⁴、花井洋行²⁵、国崎玲子²⁶、山本修司²⁷、坂田資尚²⁸、樋田信幸¹³、渡辺憲治²⁹、田中信治³⁰、竹内義明³¹、小形典之³²、盛一健太郎³³、石黒陽³⁴、村上和成³⁵、小林清典³⁶、石橋英樹³⁷、山川良一³⁸、小山文一³⁹、本谷聡⁴⁰、岩男泰⁴¹、上野文昭⁴²、吉田篤史⁴³、原田直彦⁴⁴、小野川靖二⁴⁵、平井郁仁⁴⁶、佐々木 優⁴⁷、横山正⁴⁸、松田圭二⁴⁹、相場恒男⁵⁰、杉村一仁⁵¹、篠崎大⁵²、日比紀文⁵³、渡辺 守⁵⁴、鈴木康夫⁵⁵(東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、滋賀医科大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科)⁵、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁸、順天堂大学医学部小児科学教室⁹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹⁰、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹¹、北里大学北里研究所病院消化器内科¹²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹³、東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵、杏林大学医学部消化器内科学¹⁶、福岡大学医学部消化器内科¹⁷、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野¹⁸、福岡大学筑紫病院外科¹⁹、防衛医科大学校消化器内科²⁰、ても t²¹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²²、大阪市立大医学部附属病院消化器内科²³、久留米大学医学部消化器内科炎症性腸疾患センター²⁴、浜松南病院消化器内科²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター²⁶、京都大学医学部附属病院消化器内科²⁷、佐賀大学医学部附属病院消化器内科²⁸、兵庫医科大学病院腸管病態解析学²⁹、広島大学病院内視鏡診療科³⁰、昭和大学病院消化器内科³¹、昭和大学横浜市北部病院消化器センター³²、旭川医科大学病院消化器内科³³、弘前病院消化器・血液内科³⁴、大分大学医学部附属病院消化器内科³⁵、北里大学病院消化器内科³⁶、福岡大学消化器内科³⁷、下越病院消化器内科³⁸、奈良県立医科大学消化器・総合外科³⁹、札幌厚生病院消化器内科(IBDセンター)⁴⁰、慶應義塾大学病院消化器内科(予防医療センター)⁴¹、大船中央病院消化器・IBDセンター⁴²、大船中央病院光学診療部⁴³、九州医療センター消化器内科⁴⁴、尾道総合病院消化器内科⁴⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科(炎症性腸疾患センター)⁴⁶、社会保険田川病院消化器内科⁴⁷、よこやま IBD クリニック消化器外科⁴⁸、帝京大学医学部附属病院外科⁴⁹、新潟市民病院消化器内科⁵⁰、杉村クリニック⁵¹、東京大学医科学研究所外科⁵²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療(IBD)センター⁵³、東京医科歯科大学⁵⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター⁵⁵)

クローン病に関連する癌サーベイランス法の確立に向けて -最終案の提示-

二見 喜太郎¹、東 大二郎¹、平野由紀子¹、杉田 昭²、小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、内野 基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁷、畑 啓介⁸、楠 正人⁹、荒木俊光⁹、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島

恒和¹²、木村英明¹³、亀山仁史¹⁴、江崎幹宏¹⁵、平井郁仁¹⁶、渡辺憲治¹⁷、原岡誠司¹⁸、岩下明德¹⁸(福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院⁶、東京女子医大 消化器外科⁷、東京大学腫瘍外科⁸、三重大学消化管・小児外科⁹、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴、九州大学病態機能内科¹⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁶、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁷、福岡大学筑紫病院病理¹⁸)

Crohn 病に合併した直腸肛門管癌の surveillance program 確立の検討(痔瘻癌を含む)- 作成 surveillance program の検証 -

杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、畑 啓介⁸、福島浩平⁹、楠 正人¹⁰、佐々木 巖¹¹(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、東京大学大腸肛門外科⁸、東北大学分子病態外科⁹、三重大学消化管、小児外科学¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹)

【誌上】クローン病術後再発評価に関するカプセル内視鏡評価の意義 多施設前向きコホート研究

江崎幹宏¹、松本主之²、鳥巢剛弘³、梅野淳嗣³、平野敦士³、冬野雄太³、平井郁仁⁴、岸 昌廣⁵、二見喜太郎⁶、中村志郎⁷、池内浩基⁸、渡辺憲治⁹、大宮直木¹⁰、中村正直¹¹、内藤裕二¹²、仲瀬裕志¹³、山本修司¹⁴、藤谷幹浩¹⁵、志賀永嗣¹⁶、大森鉄平¹⁷、飯島英樹¹⁸、平岡佐規子¹⁹、蔵原晃一²⁰、金城 徹²¹、金城福則²²、芦塚伸也²³、山本章二郎²⁴、竹島史直²⁵、光山慶一²⁶、猿田雅之²⁷、石川 大²⁸、澁谷智義²⁸、桜庭裕丈²⁹、小山文一³⁰、久松理一³¹、細江直樹³²、緒方晴彦³²、長沼 誠³³、金井隆典³³、小林 拓³⁴、日比紀文³⁴、長堀正和³⁵、渡辺 守³⁵、竹内 健³⁶、杉田昭³⁷、松岡克善³⁸、鈴木康夫³⁹(佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹、岩手医科大学内科学講座消化器消化管分野²、九州大学病態機能内科学³、福岡大学医学部消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁵、福岡大学筑紫病院外科⁶、兵庫医科大学内科炎症性腸疾患学講座内科部門⁷、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁸、兵庫医科大学腸管病態解析学⁹、藤田保健衛生大学消化管内科¹⁰、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学¹²、札幌医科大学医学部消化器内科学¹³、京都大学医学部消化器内科¹⁴、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学¹⁵、東北大学病院消化器内科¹⁶、東京女子医科大学消化器病センター¹⁷、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学¹⁸、岡山大学病院消化器内科¹⁹、松山赤十字病院胃腸センター²⁰、琉球大学医学部附属病院光学医療診療部²¹、浦添総合病院²²、宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御分野²³、宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野²⁴、長崎大学医学部消化器内科²⁵、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門²⁶、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科²⁷、順天堂大学医学部消化器内科学講座²⁸、弘前大学消化器血液内科学講座²⁹、奈良県立医科大学消化器・総合外科³⁰、杏林大学医学部第三内科学³¹、慶應義塾大学医学部内視鏡センター³²、慶應義塾大学医学部消化器内科³³、北里大学研究所病院 IBD センター³⁴、東京医科歯科大学消化器内科³⁵、辻仲良病院柏の葉消化器内科・IBD センター³⁶、横浜私立市民病院炎症性腸疾患科³⁷、東邦大学医療センター佐倉病院³⁸、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター³⁹)

【誌上】UC、CD、IBDU、IC における診断変遷症例の検討

岡崎和一¹、福井寿朗¹、深田憲将¹、大宮美香¹、吉岡和彦²、押谷伸英³、佐々木誠人⁴、飯塚政弘⁵、上野伸展⁶、余田 篤⁷、平田一郎⁸、清水誠治⁹、平岡佐規子¹⁰、北村和哉¹¹、中野 雅¹²、江崎幹宏¹³、久松理一¹⁴、長沼 誠¹⁵、朝倉 均¹⁶、飯田智哉¹⁷、仲瀬裕志¹⁷、本谷 聡¹⁸、熊谷秀規¹⁹、砂田圭二郎²⁰、清水俊明²¹、福田勝之²²、鈴木英雄²³、長堀正和²⁴、吉村直樹²⁵、鈴木康夫²⁶、渡辺 修²⁷、谷田諭史²⁸、小山文一²⁹、亀山仁史³⁰、花井洋行³¹、辻川知之³²、池内浩基³³、上野義隆³⁴、田中信治³⁴、平井郁仁³⁵、二見喜太郎³⁶、穂苅量太³⁷、藤井久男³⁸、北野厚生³⁹(関西医科大学内科学第三講座¹、関西医科大学総合医療センター消化管外科²、愛染橋病院³、愛知医科大学消化管内科⁴、秋田赤十字病院消化器内科⁵、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁶、大阪医科大学小児科⁷、大阪中央病院⁸、大阪鉄道病院⁹、岡山大学病院

炎症性腸疾患センター¹⁰、金沢大学附属病院消化器内科炎症性腸疾患センター¹¹、北里大学北里研究所病院消化器内科¹²、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹³、杏林大学医学部第三内科学¹⁴、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁵、こうかんクリニック¹⁶、札幌医科大学消化器内科学講座¹⁷、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター¹⁸、自治医科大学小児科学¹⁹、自治医科大学消化器内科²⁰、順天堂大学医学部小児科学教室²¹、聖路加国際病院消化器内科²²、筑波大学附属病院消化器内科²³、東京医科歯科大学消化器内科²⁴、東京山手メディカルセンター炎症性腸疾患センター²⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁶、名古屋大学消化器内科学²⁷、名古屋市立大学消化器内科²⁸、奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部²⁹、新潟大学消化器・一般外科³⁰、浜松南病院消化器病・IBD センター³¹、国立病院機構東近江総合医療センター³²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門³³、広島大学病院内視鏡診療科³⁴、福岡大学医学部消化器内科³⁵、福岡大学筑紫病院外科³⁶、防衛医科大学校消化器内科³⁷、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³⁸、若草第一病院³⁹)

【誌上】潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI と色素内視鏡の比較試験： Navigator Study 2
渡辺憲治¹、斎藤彰一²、岡 志郎³、田中信治³、味岡洋一⁴、嶋本文雄⁵、畑 啓介⁶、櫻田博史⁷、樋田信幸⁸、平井郁仁⁹、江崎幹宏¹⁰、浦岡俊夫¹¹、川野伶緒¹²、斎藤 豊¹³、池内浩基¹⁴、岩男 泰¹⁵、松本主之¹⁶、工藤進英¹⁷(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、がん研究会有明病院下部消化管内科²、広島大学内視鏡診療科³、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学⁴、広島修道大学健康科学部⁵、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科⁶、近畿大学消化器内科⁷、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門⁸、福岡大学医学部消化器内科学講座⁹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁰、群馬大学消化器・肝臓内科学¹¹、広島大学病院総合医療研究推進センター¹²、国立がん研究センター中央病院内視鏡科¹³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門¹⁴、慶應義塾大学予防医療センター¹⁵、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野¹⁶、昭和大学横浜市北部病院消化器センター¹⁷)

11. IBD の遺伝子解析プロジェクト (10:00~10:20)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10分)

NUDT15 遺伝子型に基づき最適化された安全かつ有効なチオプリンによる免疫調節療法の開発 preMENDEL / postMENDEL study

角田洋一¹、志賀永嗣¹、木内喜孝²、河原真大³、安藤 朗³、高川哲也⁴、樋田信幸⁴、渡辺憲治⁴、中村志郎⁴、遠藤克哉⁵、新堀哲也⁶、正宗 淳¹、鈴木康夫⁷(東北大学病院 消化器内科¹、東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室²、滋賀医科大学 消化器・血液内科³、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座⁴、東北医科薬科大学医学部内科学第二⁵、東北大学病院 遺伝科⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁷)

【誌上】腸管ペーチェット病および単純性潰瘍における Genome Wide Association Study (GWAS)

冬野雄太¹、平野敦士¹、梅野淳嗣¹、江崎幹宏²、角田洋一³、仲瀬裕志⁴、久松理一⁵、櫻庭裕丈⁶、国崎玲子⁷、平井郁仁⁸、猿田雅之⁹、松本主之¹⁰(九州大学大学院 病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部²、東北大学 消化器内科³、札幌医科大学 消化器内科学講座⁴、杏林大学医学部 第三内科学⁵、弘前大学大学院 消化器血液内科学講座⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁷、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター⁸、東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科⁹、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野¹⁰)

12. バイオマーカーと創薬に関するプロジェクト (10:20~11:20)

総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科 (10分)

培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する再生医療の開発

岡本隆一^{1,2}、清水寛路¹、鈴木康平^{1,3}、高橋純一¹、川井麻央¹、平栗優衣¹、竹岡さや香¹、杉原ハディ優樹¹、永田紗矢香¹、竹中健人¹、齋藤詠子¹、福田将義^{1,3}、藤井俊光¹、長堀正和¹、油井史郎^{1,2}、土屋輝一郎¹、大塚和朗^{1,3}、渡辺 守⁴ (東京医科歯科大学消化器内科¹、東京医科歯科大学再生医療研究センター²、東京医科歯科大学光学医療診療部³、東京医科歯科大学高等研究院⁴)

腸管上皮再生作用を特長とする『インジゴ潰瘍性大腸炎カプセル』の治験開始に向けた開発研究

吉松裕介¹、寺谷俊昭¹、川上宏智²、西村秀雄³、杉本真也¹、三上洋平¹、筋野智久¹、長沼 誠¹、金井隆典¹ (慶應義塾大学医学部内科学(消化器)¹、森下仁丹株式会社²、神戸医療産業都市推進機構³)

乳酸菌由来長鎖ポリリン酸を用いた新規炎症性腸疾患治療薬の開発

○藤谷幹浩¹、上野伸展¹、嘉島 伸¹、田中一之¹、坂谷 慧¹、稲場勇平²、垂石正樹²、奥村利勝¹ (旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²)

新たな潰瘍性大腸炎バイオマーカーの尿中プロスタグランジン E 主要代謝産物 (PGE-MUM) の有用性評価と実用化にむけて

猿田雅之¹、櫻井俊之¹ (東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹)

抗菌薬 3 剤併用による難治性潰瘍性大腸炎の治療

桂田武彦 (北海道大学病院消化器内科)

【誌上】潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果予測因子としての温感の意義とそのメカニズムとしての皮膚血流量の解析

飯塚政弘^{1,2}、衛藤 武¹、大森信弥³、相良志穂²、熊谷 誠⁴ (秋田赤十字病院 消化器内科¹、秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター²、仙台赤十字病院 消化器内科³、仙台赤十字病院 医療技術部⁴)

----- 11:20 終了予定 -----

閉会挨拶
事務局連絡